

日 時	令和5年2月2日（金）午後1時30分～午後2時15分
場 所	北栄町役場大栄庁舎 3階 第1委員会室
出 席 者	委員7名、オブザーバー1名、事務局3名
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>3. 委員長・副委員長選出 事務局案で委員長に岡本委員、副委員長に伊藤委員を提案し、異議なく了承された。</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 進捗状況について（事務局説明）</p> <p>(2) 進捗状況の検証・評価</p> <p>〈委員〉成人式でのアンケートについて、帰って来たくない理由などの把握はしているのか？把握しているのであれば、今後の施策に反映できると思う。</p> <p>〈事務局〉理由までは把握していないと思うが、所管部局は生涯学習課。子ども達がどのように北栄町を見ているのか。子供たちが北栄町を愛せるのか郷土愛を持てるのか取り組みを町がしていくのが必要と考えている。</p> <p>〈委員長〉働く場所なのか、余暇を過ごす場所なのか、何を求めて帰ってきていただいているのか、追加項目としてアンケートを取るのもいいかもしれない。</p> <p>(委員) 移住者について、年齢層はどの年代が多いか。</p> <p>〈事務局〉だいたい20代、30代で全体の6割から7割弱くらい。20代、30代はそれぞれ半分程度の割合。県内からの移住者は、40代も多い。県外からの移住者は20代が多い。</p> <p>〈委員〉北栄町の移住者のイメージは、農業できた地域おこし協力隊の方がそのまま定住されることが多いように思う。一方で、湯梨浜町は起業で移住される方が多いと感じる。湯梨浜町に魅力があるのかな。</p> <p>〈事務局〉北栄町は、農業の町としての側面もあり、地域おこし協力隊を採用する際も、農業での採用が多い。移住定住フェアでも農業の担い手確保ということもお願いしている。どうしても農業が多くなってしまうのが現状。しかし、北栄町で農業従事して定住していただくのがあり、ありがたく思っている。委員さんのおっしゃる通り、農業以外で起業される方の応援もしていきたい。</p> <p>〈委員〉令和7年に北条の道の駅がオープンする、施設管理者と町内事業者何か新しくマッチングするか。</p> <p>〈事務局〉町の事業であるので、施設管理者と町内事業者と繋がってもらって、商品化を進めてもらい、地域の魅力を発信していただきたと思っている。また、施設管理者が自らマッチングの場を設ける。行政として聴いている話をうまく繋げるというのが役割と思っている。</p>

(3) 第二次計画の策定における新たな視点 (事務局説明)

●副業人材の活用について

〈委員〉わが社も人材不足。30代後半と40代前半で動いている。その方々がいなくなったらどうなるのかなと思っている。副業っていう形で16時から2～3時間働いていただいて、うちのキャリアを引き継いでもらおうとしている。また、学校に声をかけたりしている。副業ありの人材確保を考えている。

〈委員〉副業人材はスポット的と思っている。また、社員の学びなおし必要と思っている。

企業には生産性向上が必須。リカレント教育というか仕組みを行政も何か考えていかれればと思っている。政府も今進められているが、町としても企業の支援考えていかれればと思う。

〈事務局〉各業種、労働力が足りていない。副業人材に求めるものとして、労働力・経営課題に対しての助言やサポートの大きく2つかと思っている。事業者ごとの課題を見据え、都会の人材の知見を取り入れながら、また、地域の中で労働力見を探していく必要がある。

〈委員〉地域に必要な産業として、例えば建設業。人間が関わらなければいけない作業がある。建設業の人手不足ということだが、ICTの建設機械のおかげでいくぶん作業が楽になっていると感じているが、やはり人の手が必要。工事の規格に入っていこうとするとどうしても人の手が必要となってくる。

測量する人間、設計する人間がまるっきり育てきていない。建設業の魅力発信というか3Kと言われている側面もある。人材不足により、将来、道路が作れなくなるのではと危惧する。技能が受け継がれていない。

〈事務局〉地域に根ざした産業、人材必要であると思う。その部分はしっかり確保していかなければと思っている。

〈委員長〉県の力を借りてでもイメージアップしていかないと。イメージの誤解をどうやって解いていくのか。継続的に取り組んでいかなければいけない。

〈委員〉兼業・副業という部分ではなく、正社員の視点をもっと入れて作れたらと思う。小さい頃の教育の中で、地元の企業をもっと知っていたらと思う。高校生の子でバイトしている子は働く楽しさが分かるので、そのまま就職していく子がある。ただ見学するだけでなく、何か楽しさ(お金でもなんでもいいが)が分かれば…と思うが。

〈委員長〉高校生の話で、有償のインターンを増やしてもいいのではないかなと思う。高校、教育委員会との話になっていくと思うが、提言という形でしてもよいのかもしれない。

●ほくほくカードの推進について

〈委員〉ほくほくカードの使う店舗が少なすぎる。メリットを感じないという意見を聴いている。町の商品券が使用できる範囲くらいは広げてほしい。使用期限も以前と比べ伸びて良くなった。

〈オブザーバー〉使用期間については、6か月を2年度間に伸ばした。使用店舗少ない少ないということだが、町と一緒に大型店への加盟を勧めるが、店舗独自のカードを持っており、進んでいない。ポスレジの改修もあり、進まないが、継続的に取り組んでいきたい。

〈事務局〉町も加入の願いまわっている、カードの使い勝手がよくなれば加盟店も持つ人も増える。これまで町報での広報をしてきたが、使い方提案をしていくというのも一つの方法なのかもしれない。

●道の駅のリニューアルオープンについて

〈委員〉町独自の施策で道の駅リニューアルとあるが、「道の駅 大栄」はリニューアルしないのか？北条道の駅と一度にリニューアルしたら、話題になるのではないかと思う。青山剛昌ふるさと館もリニューアルするし、町が目玉施策になるのではないか。

〈委員長〉北条の道の駅をリニューアルしてから議論がでてくるのではないかと思う。

〈事務局〉観光地を楽しむというのは、見る・食べるという要素があって楽しみがあると思う。その中で、商工の施策としては、創業補助金がある。現在2件ほど希望事業者があり、支援を行って言っているところ。そういった点から支援していきたい。

〈委員長〉新しい基本計画の中で社会変化の中に「青山剛昌ふるさと館」リニューアルについての記載がないので、「青山剛昌ふるさと館」の動きを踏まえてもいいのでは。それが入ってくると、由良宿をどうするのかという議論がでてくる。「青山剛昌ふるさと館」整備を踏まえた基本計画の示唆が必要ではないか。

●その他

〈委員〉ネット環境をよくしないと若い人が集まらないのでは。県外からの移住者もネット環境がいいということで入ってくるのではないかと思う。

〈委員長〉今日の会議から外れるかもしれないが、要望していく場面があるのではないかと思う。スマート農業など色々なジャンルで働きかけないといけないかもしれない

〈オブザーバー〉 後継者について、いろいろな会員さんと話しをする中で、職業体験があるが遊び感覚になってしまっている。地域の中で使える通貨があると働く喜び、意味が分かるのではないかとの意見があった。

・外国人材の活用という話もあったが、コロナ禍で止まってしまっていた。外国人材についても支援をお願いしたい。新たな視点ではないが、事業継承という視点で、商工会としてもかなり重大な課題。町としてもご協力をお願いしたい。目玉としていれていただきたい。

・今年度、県下で事業継承についてのアンケートを行った。後継者がいない割合が2/3となっている。経営者が若いなど一概に言えない部分もあるが、引き続き取り組んでいかないといけない。

・燃料高騰の時代なので、脱炭素経営の視点も計画に入れていく必要があるのではないかと思う。

〈委員長〉新しい視点として、社会環境の変化としてGXもしくは脱炭素計画。町としての独自施策もかかわってくるので、計画に入れていっていただきたいと思う。

〈委員〉資料1の観光客の民泊業者の増加3社とあるが、空き家を無償提供するなど町がしていけば、「取り組みたいという業者も出てくるのではないかと思うが、いかがか。

〈事務局〉空き家の状況について把握はしていないが、民泊をしたいという方の情報は入ってきている。その方たちにお伝えしているのは、空き家を調査して地域に入って情報を押さえてください、地元の方と関わり・繋がりを持ってくださいとお勧めしている。

〈委員長〉町の施策として民泊の支援はある。入ってくる希望者は若い方が

多いが、地元とのトラブルも多い分野である。

(4) その他（スケジュール等）（事務局より説明）

4. 閉会